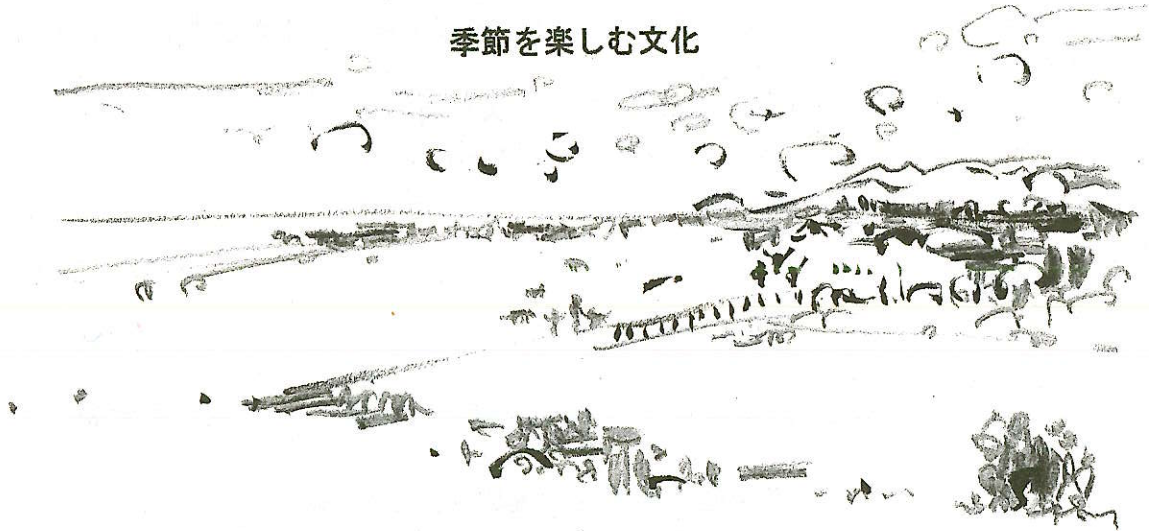




多摩辺

学校だより
昭島市立多摩辺中学校
校長 相部公太郎
令和4年10月4日

季節を楽しむ文化



日本では昔から、季節を楽しむ文化が築かれてきました。平安時代に清少納言が書いた「枕草子」では、「秋は夕暮れ」が、一番風情があると言っています。秋の夕方、涼しく吹く風や秋の虫の音に特別な思いを抱いていたことでしょう。

このところ、学校の敷地内では、金木犀の香りが心地いいですね。また、花梨の木には、しっかりと実がついています。校庭から見上げる空も、もう夏の空ではありません。そして、校内のいたるところで、秋の虫の音が聞こえます。

私たちの住む日本は、現在、豊かなこともたくさんあります。たとえば、一年中、おいしい果実や野菜が食品売り場には並んでいます。でも、そのために、私たちは季節を感じる機会が少なくなりつつあるのではないのでしょうか。ぜひ、もう一度、自分の身の回りに目を凝らし、耳を傾け、五感を研ぎ澄まして観察してみてください。きっと、季節の変化を感じることはできるはずです。そして、日常の生活を、自ら豊かにしていきましょう。 【全校朝礼講話より】